# バッテリパック BS06シリーズ



④出力電圧(DC24V系)

⑥長寿命バッテリ

⑤容量

### 海스電酒

■型式説明

<b>型口电</b> 源	
eNSP-300Pシリーズ	
aNSP3-250P-S20	
NSP2-250シリーズ	
NSP3-150-F2S	
NSP2-250-F2S	

BS06 \* - H 24 / 2.5 L

1 2 3 4 5 6

●当社製5インチベイ内蔵型、鉛バッテリパックとの互換性を実現。メンテ ナンス時にニッケル水素バッテリへの交換が可能

①シリーズ名

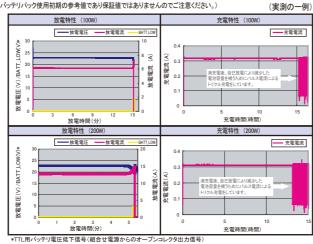
②A:スタンバイユース

B:サイクルユース

③ニッケル・水素バッテリ

- ●鉛バッテリパックと比べ、約1.5倍の放電時間、約3倍の寿命を実現
- ●ヒーター内蔵により、低温時の起動不全及び、容量低下対策
- ●バッテリパックの状態(充電・バックアップ)が出力可能
- ●回路漏れ電流防止回路搭載

バッテリ充放電特性 (組合せ電源「eNSP-300P-S20-11S」) (バッテリバック使用初期の参考値であり保証値ではありませんのでご注意だざい。)

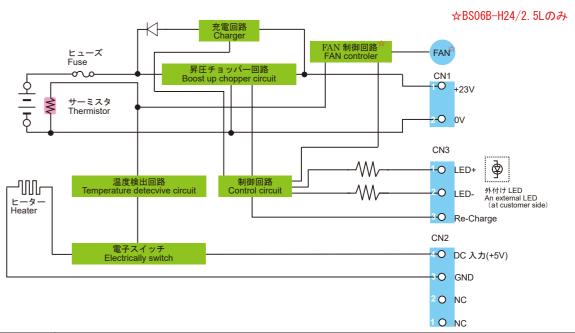


# 製品仕様(特に規定がない場合は、常温・常湿環境条件にての規定)

項目		仕様	測定条件等
使用バッテリ		1.2V 2.5Ah × 14直列	密閉型ニッケル・水素電池
公称バッテリ電圧		DC16.8V	
定格容量		2.5Ah	
最大出力容量		310W	
出力電圧		DC23.0V typ	バッテリパックの出力端子電圧
充電仕様		0.25A typ(Max.15時間 typ)	出荷時は15時間の強制充電モードで出荷します。
ヒーター		バッテリ温度20℃ typ以下にて動作する。(ヒーター動作時消費電力:12W/DC5V typ) 低温時・・・・0℃からのウォームアップ時間は1時間となります。	電源本体部のペリフェラルコネクタをCN2コネクタに接続し、 電源本体のPS_ON#信号をONとした場合のみ動作するものとする。
内蔵ヒューズ定格		30A 32V	ヒューズ交換を禁止する
使用温度•湿度		0~50°C·10~90%	結露無き事
保存温度·湿度		1年以内の保存:-20~35°C未満・10~95% 6ヶ月以内の保存:-20~45°C・10~95% 1ヶ月以内の保存:-20~55°C・10~95% 1週間以内の保存:-20~65°C・10~95%	結露無き事
振動		変位振幅0.15mm、周波数10~55Hz、掃引サイクル数10、においてX・Y・Z方向に各45分に耐えること。	結露無き事
衝撃		加速度150m/s²、作用時間11ms、においてX・Y・Z方向に各1回行い、誤動作・損傷・緩み・外れを生じないこと	結露無き事
質量		1.8 kg typ	
期待寿命	BS06A-H24/2.5L	約9~10年(5回/年 放電)	環境温度30℃、100W3分放電/回
	BS06B-H24/2.5L	約3~4年(1回/日 放電)	
保存条件		6ヶ月以上の長期保存の場合、最低1年に1回(できれば6ヶ月に1回)は再充電を行って下さい。	左記期間を過ぎて再充電を行わない場合、充電しても十分 に容量が回復しないことがあります。
無償修理期間		納入後1年間とし弊社の責による不具合品が発生した場合無償修理又は交換とする 但し、過放電による不具合は除く。	製品仕様書範囲外にての誤使用等による場合を除く

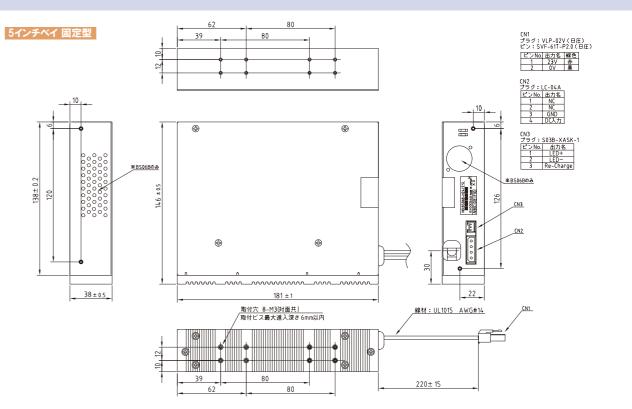
\*期待寿命は参考値であり保証値ではありませんのでご注意下さい。





	ヒーター	電池温度が15℃以下の場合、電池出力が低下しバックアップ運転が出来なくなる場合があります。本機のヒーター機能を使用すれば、安定		
		したバックアップ時間を確保するために電池温度を20℃以下にならないようコントロールすることが可能です。		
	バッテリ監視信号出力	・リ監視信号出力 充電中(点灯)・放電中(点滅、高速)・補充電中(点滅、低速)を外付けLEDで確認できる電圧出力端子を搭載しています。 れ電流防止回路 ノンストップ電源からの充電用電源が停止すると、制御ICへの電源供給を停止させスリープモードに移行します。		
	回路漏れ電流防止回路			
	長期間の保管においても電池の自己放電しか発生しないため安心して保管することができます。 FAN 放電時および充電時のバッテリ温度上昇を低滅させます。充電回数の多いサイクルユースに対応しています。			

## 外形図



### 0&A

Question	Answer		
スタンバイユースとサイクルユースの違いについて教えてください。	停電時(年数回程度の停電)のバックアップ用途をスタンバイユース、毎日バックアップ するような用途をサイクルユースと呼んでいます		
BS06AとBS06Bの違いは何でしょうか?	BS06AとBS06Bの違いはBS06Bには冷却用FAN(およびFAN制御回路)が付いていることです。 バックアップ(放電)回数の多いサイクルユースでは、充放電時に発生するバッテリ温度 上昇が寿命に影響するため、FANにより温度上昇を低減させています。		